

能生中学校だより



三一録

令和3年9月22日

NO. 4

糸魚川市立能生中学校

☎ 949-1352 能生2643

☎ 025-566-2065



能生中ホームページ <http://www.itoigawa.ed.jp/nou-jhs/>

能生中トピックスから (能生中ホームページから抜粋)

各種県大会、地区吹奏楽コンクール壮行会



各種県大会、地区吹奏楽コンクールの壮行会を行いました。団長から心を込めて応援しましょうとの呼びかけから壮行式が始まりました。校長からは、創立20周年の時から生徒たちが抱いてきた大会への思いが紹介されました。「先輩のように自分たちも」と奮起した生徒も多かったと思います。

各部のスタートを切り、吹奏楽部が「繚乱～能「桜川」の物語によるラブソディ～」を披露しました。難しい曲ですが、気持ちを一つにすてきな演奏でした。本番もさらに緊張感を高め、できることをすべて出し切る表現をしてくれることを期待しています。

その後、県大会に出場する野球、男子バレー、陸上、特設水泳、特設相撲と決意を述べていきました。「県大会に出場する者、〇〇」とそれぞれ自分の名前を叫ぶ姿に能生中生徒のたくましさを感じました。

最後は、応援団を中心とした全校生徒によ



る応援を声高らかに、選手に送り壮行会の幕を閉じました。

ぜひ、選手、吹奏楽部員の健闘をご期待ください。

夢を叶える 吹奏楽部 “リアル ゴールド”



7月18日(日)に上越文化会館で行われた上越地区吹奏楽コンクールで、能生中吹奏楽部は見事金賞を受賞しました。また、上位7ヶ校に与えられる県大会出場権を獲得することができました。今まで、外部指導者の方や

糸魚川吹奏楽団の方々から指導いただき、一人一人が演奏技術を高め、メンバー全員がパート毎の調和に努めてきた成果を十分に発揮することができました。

学校に帰って楽器を片付けているときに、インターネットで能生中が“リアル ゴールド”（県大会出場権獲得金賞）だったことを知り、保護者の方々と共に大歓声の中、喜びを感じることができました。

県吹奏楽コンクールは、8月7日(土)りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館で開催されます。より完成された『繚乱～能「桜川」の物語によるラブソディ～』で、聴いてもらえる方々に感動を贈れるように練習に励みます。休日にも関わらず楽器の搬入や片付け、応援に駆けつけていただいた皆様、本当にありがとうございました。

県総体の軌跡 北信越、全中出場権獲得



7月17日(土)18日(日)に行われた県総合体育大会では、それぞれの開催会場で能生中健児が大活躍しました。応援に駆けつけていただいた皆様、本当にありがとうございました。

尚、特設相撲部の3年生男子が重量級で優勝して、8月5日(木)に行われる北信越大会に出場が決まりました。その後各階級の上位者による全国大会出場リーグ戦でも全勝優勝で8月20日～22日に東京都で行われる全国大会への出場が決定しました。これからも体調管理、感染症の予防対策を確実にいき、全力を尽くしてきます。応援よろしく願います。

○野球 (7月17日)

1回戦 対 十日町市内チーム 0-4 惜敗



○男子バレー (7月17日18日)

1回戦 対 新潟市内チーム 2-1 勝ち

2回戦 対 新潟市内チーム 0-2 惜敗

○陸上競技 (7月17日18日)

女子砲丸投 8m32 自己ベスト

3年女子

男子800m 2'10"76 自己ベスト

3年男子

○特設相撲 (7月17日)

3年男子

重量級 4名リーグ戦 全勝 1位

北信越大会進出決定

全中出場決定戦 9名リーグ戦 全勝 1位

全中出場決定

体育祭に向けて全力で軍活動



令和3年度創立30周年記念体育祭は、嵐栄越煌(らんえいここう)～繋げよう30周年の輪～というスローガンの下能生中生徒一丸となって準備を進めています。「嵐影湖光(らんえいここう)」という美しい景色やものを形容する四字熟語から着想し、生徒たちがつくりました。二軍に分かれるけれど、争い合うだけでなく互いに成長したたえ合える「美しい」体育祭にしたいという思いが込められ

ています。両軍の軍名にある「嵐」と「煌」を一文字ずつとりました。



赤軍スローガン：煌咲（きさき）

意味：みんなが一人一人煌めいて、笑顔の花を咲かせる。

青軍スローガン：嵐藍（あらん）

意味：勢いのある嵐のように、かつ、包み込むような藍（愛）のある集団

新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大し、当市内でも感染者が増加しています。実行委員長は「感染禍での体育祭の開催は、規制も多く、自分たちが準備を進めて来たこととは大きくかけ離れてしまい、残念ではある。ただ、そのような中でも開催できることに感謝し、自分たちが現在できる”最高”を追い求めていこう」と全校生徒に語ってくれました。

成夏 から 結実 へ

朝の生徒玄関清掃～体育祭屋内練習開始



能生中学校では、コロナウイルス感染症の感染防止のために、生徒の登校時に検温を生徒玄関の外で行っています。今朝7：20過ぎに最初に登校したのは、3年生の男子でした。屋外で検温した後、誰に言われたわけでも無く、無言で生徒玄関内の清掃を開始しました。

前の日は、今年度初めての全校でのグラウンド練習でした。終了後、グラウンドを出る際に土を落として玄関に入るように指導しま

したが、若干の土で汚れてしまいました。その様子を見た1年生数名が進んで掃除をして、きれいに整えてくれました。

その後の部活動での土の混入が少しあり、玄関解錠をした時には、また汚れていました。それを丁寧に掃き取ってくれていたのです。みんなが気持ちよく学校生活をスタートできるように心配りをしてくれた行動に感動しました。能生中生一人一人の夏の”成夏”が、他を思いやる心を育ててくれています。きっと素晴らしい体育祭を創り上げてくれることでしょう。



体育祭当日が近づいており、昼休みも各軍団の自主練習が行われています。それぞれの大切な休み時間をみんなで持ち寄って望ましい集団づくりに取り組む姿に、「自治的な力」の高まりを感じます。

赤軍は、応援パフォーマンスの練習、青軍は綱引きの並び順と作戦に熱心に取り組んでいました。また、こんな場面でも、タブレットが有効利用されています。学校生活を豊かに、そして便利にする文房具の一つとして定着しつつあります。

大雨に見舞われた午後の体育祭練習は、アリーナで行われました。今日の練習は開閉会式と綱引きです。コロナ禍の綱引きを実施するにあたり、担当の生活委員会では密を避ける工夫をいくつも施してくれています。その努力を成果に変えるべく、熱心に説明を聞いて練習する姿が輝いていました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、体育祭を9月18日に延期。まさに、苦渋の決断。

それでも能生中の生徒たちは、この逆境を乗り越え、体育祭を大成功させてくれると信じています。